

公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

第23回 中学生作文コンクール

1万7122の作品が
寄せられました
テーマ
未来へつなぐ、わたしのエコ活動

受賞者決定 晴れやかな笑顔

「未来へつなぐ、わたしのエコ活動」をテーマとした「第23回中学生作文コンクール」(公益財団法人イオンワンパーセントクラブ主催)の審査会があり、文部科学大臣賞などを含む30作品が選ばれた。表彰式は昨年11月22日、東京・ホテルメトロポリタンエドモントのクリスタルホールで開かれ、受賞者が全国から集まった。応募総数は過去最高の1万7122点だった。



受賞者と審査員のみなさんと記念撮影

受賞者3人が朗読 サプライズの再会も



渡邉理事長(左)、イオンワンパーセントクラブ賞を受賞した藤田崇弘さん(右)

の池田健心さんの3人が作文を朗読した。落ち着いた声で作文を読み上げ、ほかの受賞者からは「すてきだった」「立派でびっくりしたなど」と称賛の声が相次いだ。



文部科学大臣賞を受賞した池田健心さん

表彰式は主催者を代表して公益財団法人イオンワンパーセントクラブの渡邉廣之理事長のあいさつから始まった。続いて受賞者一人ひとりに賞状が渡された。入賞と優秀賞には審査員がプレゼンターとなり、イオンワンパーセントクラブ賞は渡邉理事長、環境大臣賞は環境省の黒田一隆さん、文部科学大臣賞は文部科学省の高市和則さんがそれぞれ賞状を手渡した。緊張の面持ちで壇上に向かう受賞者たちは、賞状を受け取ると晴れやかな笑顔を見せた。

受賞者を代表して、イオンワンパーセントクラブ賞の藤田崇弘さん、環境大臣賞の原澤幸希さん、文部科学大臣賞の池田健心さんが、受賞者3人が朗読した。サプライズの再会も。

受賞者と審査員 なごやかに交流



なごやかな雰囲気での懇親会

表彰式後は懇親会が開かれた。式典

受賞おめでとうございます

文部科学大臣賞

福岡県 直方市立直方第二中学校2年 池田 健心

環境大臣賞

神奈川県 鎌倉市立手広中学校3年 原澤 幸希

イオンワンパーセントクラブ賞

広島県 英数学館中学校3年 藤田 崇弘

優秀賞

東京都 東京学芸大学附属世田谷中学校2年 太田 綾音

広島県 広島市立国泰寺中学校3年 小林 巴葉

愛知県 名古屋市立大曽根中学校3年 榊原 托純

愛媛県 愛媛大学教育学部附属中学校2年 弘松 詩菜

宮崎県 都城市立姫城中学校3年 北郷 優斗

福島県 いわき市立泉中学校3年 松浦 里緒

東京都 東京学芸大学附属世田谷中学校2年 山田 愛華

入賞

東京都 学校法人北豊島学園北豊島中学校1年 稲垣 奈名子

福岡県 福岡市立高取中学校2年 後川 優紀

鹿児島県 薩摩川内市立東郷学園義務教育学校3年 宇都 千遥

広島県 広島市立広島中等教育学校2年 小野 凛花

岩手県 岩手県立一関第一高等学校附属中学校2年 小野寺 奏和

静岡県 静岡市立城内中学校3年 小原 莉緒

東京都 学習院女子中学校2年 竹内 あかり

京都府 京都市立太秦中学校1年 竹鼻 麻実

大阪府 大阪市立北稜中学校1年 陳 国栄

大阪府 大阪市立北稜中学校1年 土井 こころ

東京都 練馬区立北町中学校3年 富久 真斗

千葉県 我孫子市立白山中学校1年 長野 遥貴

沖縄県 昭和薬科大学附属中学校2年 仲村 愛結

北海道 鹿追町立鹿追中学校3年 西垣 美緒

東京都 板橋区立桜川中学校2年 服部 華乃

東京都 東京学芸大学附属世田谷中学校2年 坂東 可奈子

兵庫県 学校法人須磨学園須磨中学校1年 藤 彩乃

東京都 ドルトン東京学園中等部2年 山内 南都子

長野県 山ノ内町立山ノ内中学校3年 山口 庭来

広島県 広島市立三入中学校3年 横田 梨緒

審査員講評

清水 章弘 (教育アドバイザー)

中学生が書いてくれた作品をたくさん読ませていただきました。なかなか差がつけられない、そんな中でみなさんの作品が選ばれました。努力や行動の差もあるけれど、一番は「運」だと思います。運良く選ばれた人には、次に挑戦していく責任が生まれるのではないのでしょうか。中学生には勢いがあります。その勢いを使って、活動を発信したり、大人から吸収したりして、次の一歩を踏み出してください。これからの活躍を祈念しています。

汐見 夏衛 (作家)

みなさんは約1200字という長い文章を書くことができました。しかも内容の濃いものを書ける力がある。それは一つの才能だと思いますので、大事にしてほしいです。みなさんの作文からは、ご家庭の様子が垣間見えました。家族で環境問題について考えながら生活していて、エコ活動が身に染み入っているのを感じました。勉強になりましたし、私も環境問題についてしっかり考えなきゃと思う審査でした。すてきな機会をありがとうございました。

マシガンズ 滝沢 秀一

(お笑い芸人 兼 ごみ清掃員 環境省サステナビリティ広報大使)

私は人生において大切にしていることが三つあります。一つは「体を使って勉強すること」。体で覚えたことはしっかりと刻み込まれて忘れません。そして、目の前にあることが本当にそうなのか「疑う」こと。考えるのが大事ということです。最後にそれを「分析」することで、自分の考え方が構築されていくのではないかと思います。みなさんの作文には小さな芽が出てきていました。これからどうやって伸ばしていくのかを楽しみにしています。

高田 圭子 (朝日学生新聞社 取締役会長)

審査の際に心がけたことは、「一歩踏み込んでいるか」という点でした。ご存じのとおり、環境について知りたいと思ったら、情報はあふれていて簡単に調べられますし、AIがそれっぽいものを書いてくれます。そんな時代に、どんな意識を持って考えたり、実践したりしているか、その先をちゃんと書いているかを見ました。みなさんはそれができています。この先も、リアルを表現するという意識を持って羽ばたいてほしいです。

イオン1%クラブの活動紹介

「お客さまからいただいた利益を社会のために役立てる」という想いのもと、イオングループの主要企業が

税引前利益の1%相当額を拠出し、

子どもたちの健全な育成

諸外国との友好親善

地域の発展への貢献

災害復興支援

を主な事業領域として、環境・社会貢献活動に取り組んでいます。

イオン チアーズクラブメンバー募集中! 入会金・年会費無料

「イオン チアーズクラブ」は、小学生を中心に全国のイオングループの店舗等を拠点に、約540クラブが環境や社会貢献をテーマに体験プログラムを行っています。



子どもたちの健全な育成

環境・社会をテーマに、子どもたちが社会的なルールを学びながら身近な地域の問題を主体的に捉え、考える力を育てます。



地域の発展への貢献

地域に根ざし、次代に引き継ぐべき伝統行事や文化の継承を支援するとともに、地域社会が抱える諸問題の解決に取り組みます。



諸外国との友好親善

学生たちに国際的な文化・人材交流の機会を提供し、相互理解を深めることで日本と諸外国との友好親善を深めます。



災害復興支援

大規模災害により被災した方々が、日常の生活を一日でも早く取り戻せるよう、復旧・復興を支援しています。

